

2) 第2分科会について

(1) 取り組み状況について(経過報告)

行政評価研修の実施

- ・行政評価運用研修 平成19年5月10日(木)
演題：地方自治体の行政経営と行政評価
テーマ：ニュー・パブリック・マネジメントの視点から
参加者：約180人
講師：関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授、石原俊彦氏
- ・行政評価先進自治体例研修 平成19年5月11日(金)
演題：豊橋市における行政評価と行政経営
テーマ：自治体行政経営と行政評価
参加者：約200人
講師：愛知県豊橋市財務部次長、金田英樹氏

事務事業評価の実施

- ・事務事業評価表記載説明会 平成19年6月8日(金)
参加者：約130人
- ・第1回事務事業評価ヘルプデスク 平成19年7月9日(月)～19日(木)
提出された事務事業評価表の記載内容を担当課、コンサルタント、行政改革課で対面点検を実施し、事務事業評価表の修正を行った。
- ・第2回事務事業評価ヘルプデスク 平成19年10月9日(火)～26日(金)
未提出や提出済みの事務事業評価表に空白等が多かったため、事務事業評価表の補正等を係単位で実施した。日程調整がつかない場合は、後日再調整し実施している。

行政事務改善委員会第2分科会による検討

- ・これまでの開催状況
開催回数：6回(12月21日に第7回を実施予定)
検討内容：施策評価モデル評価の実施、施策評価表、評価方法の検討など

(2) 今後の取り組みについて

今年度中に予定している取り組み(実施対象：本庁課長補佐～部長)

今年度の施策評価は試行と位置づけしている。下記のスケジュールにより、1月に施策評価の考え方、施策評価表記載の説明会を行い、1施策(総合計画基本計画から体系化した施策46中)について評価を試行する。その具体的な方法等は、分科会と事務局で調整している。

- ・施策評価表記載説明等研修会の実施(1月頃)
- ・施策評価試行の実施(1月～2月)
- ・施策評価ヘルプデスクの実施(2月)

取り組みにおける課題等

・行政評価を導入したことで、すぐにその成果、効果がでるものではない。行政経営の一つの手段として、様々な仕組み(実施計画、予算編成等)と連携を図りながら、職員自らが活用し、活用できるものとして理解してもらうとともに、本市に一番適した仕組み

みづくりをしていく必要がある。

・事務事業評価表作成は、作成マニュアル、記載説明会において、「評価表の記入・検証は必ず、部署内で共通意識のもとで実施してください。」「課長の目を通してください。」と働きかけしている。係員、係長が作成するだけでなく、個々の事務事業を認識するコミュニケーションツールとして活用してもらいたい。

・行政評価、予算編成、施政方針、実施計画などにおける施策、事務事業の単位にバラツキがあるため、各職員、各ツール担当課と目線合わせを行なうとともに、具体的な調整作業を進める必要がある。

行政経営システムの参考イメージ

出所

「地域政策研究」(高崎経済大学地域政策学会)第6巻 第3号 2004

総合計画と行政評価のリンクゲージ - 広島市行政評価制度をもとに -

高崎経済大学地域政策学部地域政策学科 准教授 佐藤 徹

